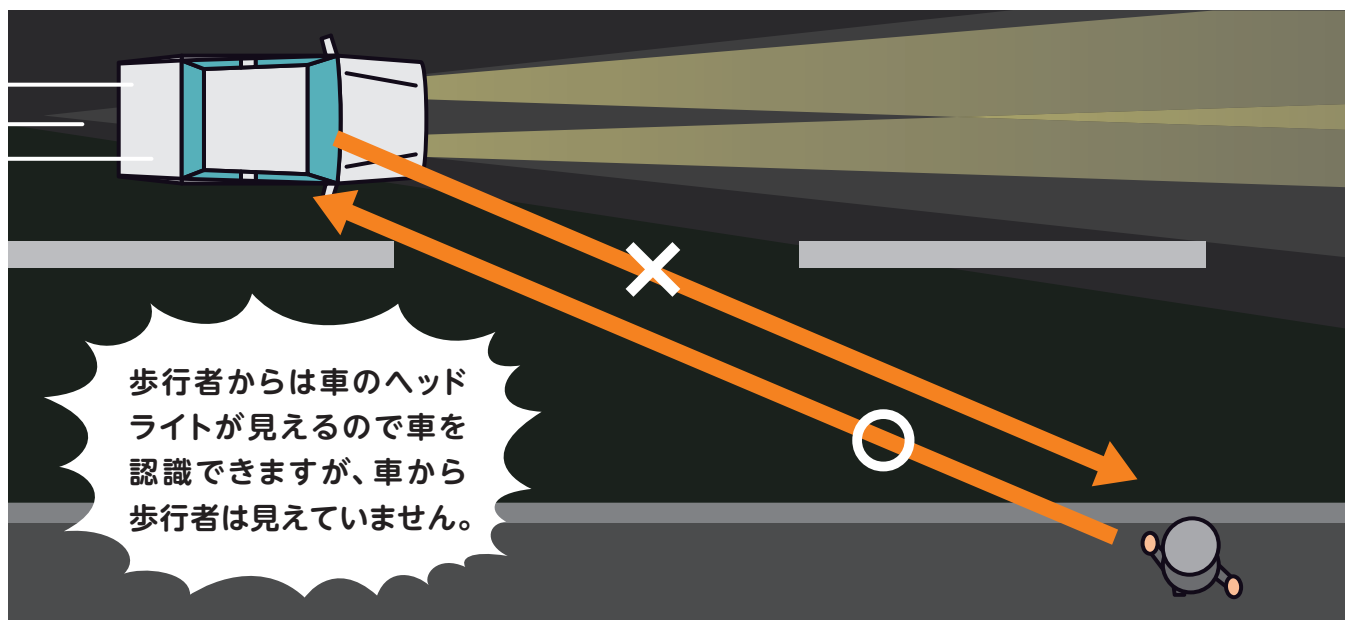


夜間の交通事故

夜間の外出時は特に注意!

車のヘッドライトが見えるから、運転者からも自分が見えているはずだという思い込みが事故を招きます。実は車のヘッドライトは(下向き)右下がりのため、右方向はライトが届かず、左方向に比べてドライバーから見えづらいことがあります。

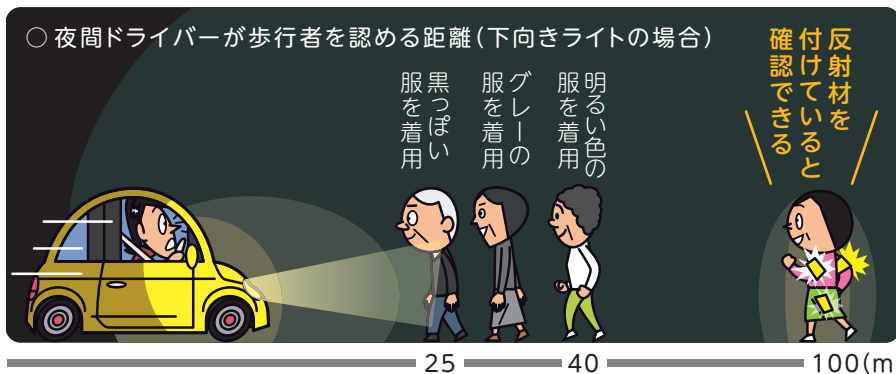


歩行者からは車のヘッドライトが見えるので車を認識できますが、車から歩行者は見えていません。

事故に遭わないためのポイント!

夜間外出する時、暗い色の服を着ていると、運転者から見えづらいことがあるので、できるだけ白や黄色などの明るい色の服を着るよう心がけましょう。また、反射材を身に付けておくとさらに安心です。

車や自転車の運転者が気付きやすいように、反射材を身に付けるようにしましょう。



※時速50kmで走行中の停止距離は32m(乾燥路面、普通自動車) 参考資料:一般財団法人 全日本交通安全協会「高齢者の交通安全」